

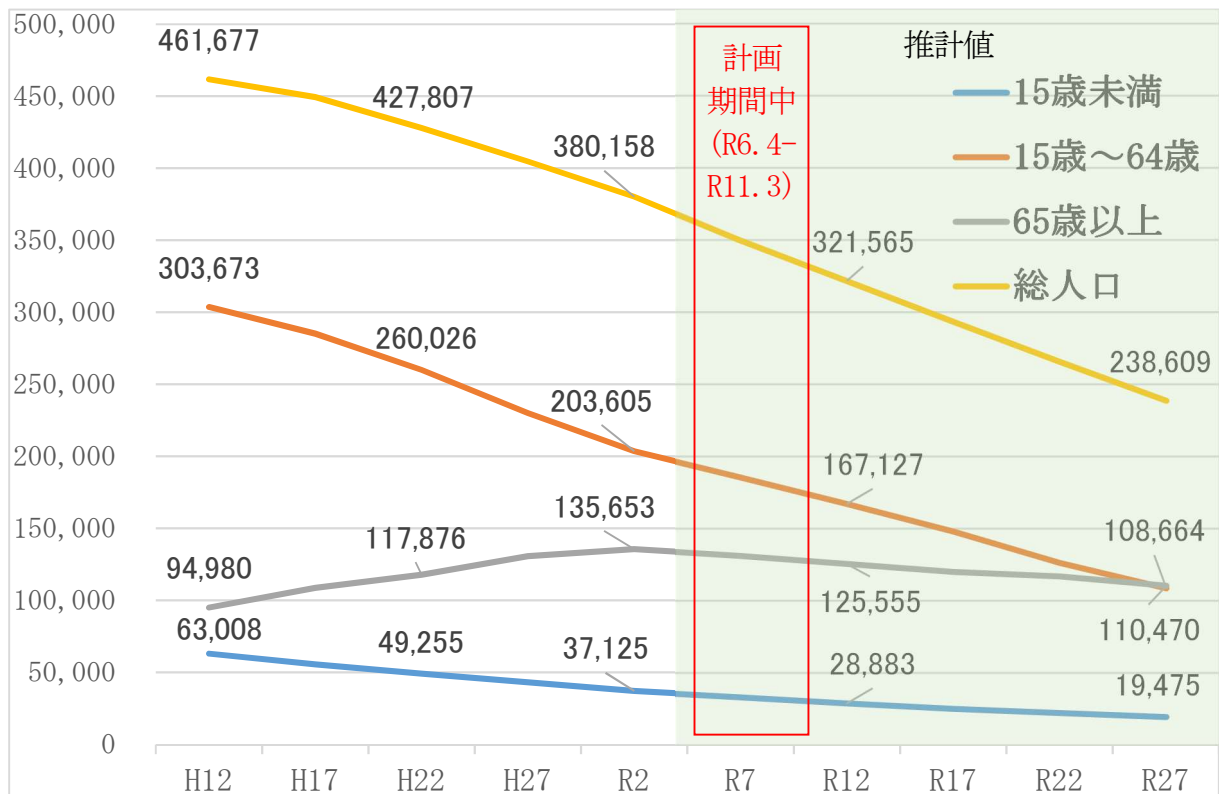
## 2 社会動向

### (1) 人口動態

渡島地方の人口は、平成12年の約461千人から令和2年の約380千人へと、20年間で17.7%減少しており、さらに令和22年の推計は約265千人と、今後20年度でさらに30.2%減少する見込みとなっている。

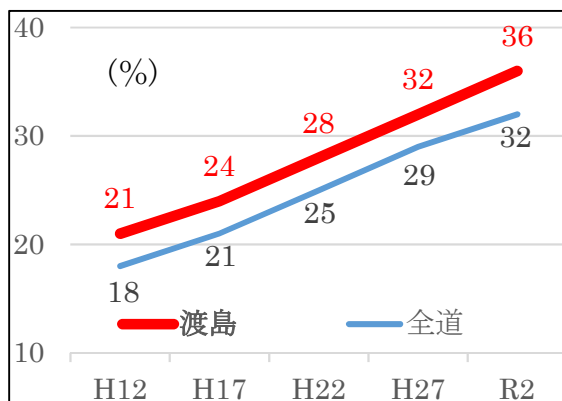
人口減少を年代別に見ると、「65歳以上」の人口より、「64歳未満」の人口の減少スピードが速いことから、今後、さらに高齢化が進行すると考えられる。

渡島地方の人口動態 (人)



【出典】総務省「国勢調査」(令和2年) など

総人口に対する高齢化率 (65歳以上)



	H12	H17	H22	H27	R2
渡島	21%	24%	28%	32%	36%
檜山	26%	30%	34%	39%	43%
北海道平均	18%	21%	25%	29%	32%
全国平均	17%	20%	23%	27%	28%

【出典】総務省「国勢調査」(令和2年)

## (2) 移動特性

### ア 地域住民の広域移動及び公共交通に係る意向等の調査結果

渡島管内各市町に居住する住民の広域的な移動実態の傾向を確認するとともに、地域公共交通の利用状況やニーズを把握するため、必要な情報収集を実施し、3つの圏域ごとにまとめた。

圏域	関係市町
渡島東部圏	函館市、北斗市、七飯町、鹿部町、森町
渡島西部圏	松前町、福島町、知内町、木古内町
渡島北部圏	八雲町、長万部町

#### ① 就業・通学に関する移動実態について

令和2年国勢調査データを活用し、渡島管内における住民の通勤や通学に係る広域的な移動の傾向について整理した。また、各市町等で実施したアンケート調査結果などによる通勤・通学に係る移動手段の傾向を把握した。(※調査概要はP84, 85を参照)

#### <圏域ごとの移動傾向>

自治体	総数	移動先								
		道南圏						檜山管内	道内	道外その他 (不詳含む)
		渡島管内								
小計	自市町内	東部圏	西部圏	北部圏						
管内全域	186,340 (100.0%)	175,499 (94.1%)	146,957 (78.9%)	26,748 (14.2%)	1,033 (0.6%)	761 (0.4%)	548 (0.3%)	1,906 (1.0%)	8,387 (4.6%)	
渡島東部	168,237 (100.0%)	158,693 (94.3%)	131,660 (78.3%)	26,101 (15.4%)	445 (0.3%)	487 (0.3%)	318 (0.2%)	1,491 (0.9%)	7,735 (4.6%)	
渡島西部	7,738 (100.0%)	7,220 (93.4%)	6,107 (78.9%)	484 (6.3%)	585 (7.6%)	44 (0.6%)	49 (0.6%)	149 (1.9%)	320 (4.1%)	
渡島北部	10,365 (100.0%)	9,586 (92.5%)	9,190 (88.7%)	163 (1.6%)	3 (0.0%)	230 (2.2%)	181 (1.7%)	266 (2.6%)	332 (3.2%)	

【出典】総務省「令和2年国勢調査」

- ・ 渡島東部圏は、ほぼ渡島管内全域の平均的な就業・通学状況と同一の傾向を示している。
- ・ 渡島西部圏は、渡島管内全域の平均的な就業・通学状況と比較すると、渡島東部圏への移動割合が低く、渡島西部圏内の移動割合が高い傾向を示している。
- ・ 渡島北部圏は、渡島管内全域の平均的な就業・通学状況と比較すると、自町内や檜山圏内への移動割合が高い傾向を示している。